# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和７年５月１日現在　　江戸川区立南葛西第二中学校

| 全国学力・学習状況調査<br>Ａ・Ｂ層の割合 | | |
|---|---|---|
| 年度 | 国語 | 数学 |
| 令和８年度の目標 | 50.0% | 50.0% |
| 令和７年度の目標 | 45.0% | 45.0% |
| 令和６年度の結果 | 33.8% | 35.8% |
| 令和５年度の結果 | 36.2% | 29.5% |

| 令和６年度江戸川区学力調査結果<br>Ａ・Ｂ層の割合 | | | |
|---|---|---|---|
| 学年 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 第２学年 | 40.6% | 28.2% | 50.0% |
| 第１学年 | 38.2% | 50.0% | 52.9% |

| | 目標達成に向けた取組 | | |
|---|---|---|---|
| | 教員の指導力向上 | 基礎学力の保障 | 学習習慣の確立 |
| 学校全体の取組 | ・各授業の冒頭に本時の学習の目標を示し、生徒に学習の見通しを持たせる。<br>・各教科において、自分で考え表現する時間を確保する。<br>・目標の達成度（理解度、変容）を確認する。<br>・授業の終盤に時間を確保し、学習内容をまとめ、振り返りを行い、生徒に自己評価をさせる。 | ○学習習慣の定着を意図して以下の取組を推進する。<br>・タブレット端末でのドリルパーク等の活用を推進し、生徒個々の状況にあった学習内容を提供する。<br>・４人班などのグループ学習を各教科で展開し、互いに学びあう環境づくりをする。<br>・放課後学習教室「ＥＤＯスク」を実施する。<br>・考査前補習教室を実施する。 | ・「ＫＧＰノート」（K=家庭、G=学習、P=プロジェクト）等の、自学自習の取組を推進する。<br>・与えられた課題だけをやるのではなく、自主的に課題を見つけて、主体的に学習に取り組む習慣を確立する。<br>・学力向上プロジェクトを活用し、生徒の理解度の把握と家庭での学習の習慣を定着させる。 |
| 特に支援が必要な児童・生徒への手だて | ・「自己目標」をノートに書き、授業後に振り返り「自己評価」し、「自己変容」を認識できるように支援する。<br>・全員が自信をもって答えられる問題を授業中に意図的に数問は出題し、解答させるなどして自己肯定感を高める。 | ・学力向上委員会（学力向上プロジェクトチーム）で協議検討して対応する。<br>・ワークシート等の結果分析から、つまずき箇所を把握し、「EDOスク」等での補習やドリルパーク等を活用した丁寧な指導と習熟に基づいた反復学習により早期に克服する。 | ・放課後学習教室や個別の補習指導に誘導し、“わかる・わかった”を体感させるコンテンツと指導を行い、下学年対応も含め学習の楽しさと学習への意欲を醸成する。<br>・機をとらえ具体的に保護者との連携・協力を呼びかける。<br>・ドリルパーク等のアプリの活用。 |
| 成果指標 | ・全国学力調査において、<br>「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」<br>肯定的な回答<br>現状53.7%　→　65%以上 | ・全国学力調査において、<br>「授業の内容はよく分かりますか」　当てはまる。どちらかといえば当てはまる。の合計<br>国語　68.7%　→　80%以上<br>数学　81.7%　→　90%以上<br>・Ｃ層＋Ｄ層（国、数）50%以下 | ・全国学力調査において、<br>「授業時間以外の勉強時間」<br>1時間以上の回答割合<br>現状59.8%　→　80%以上 |